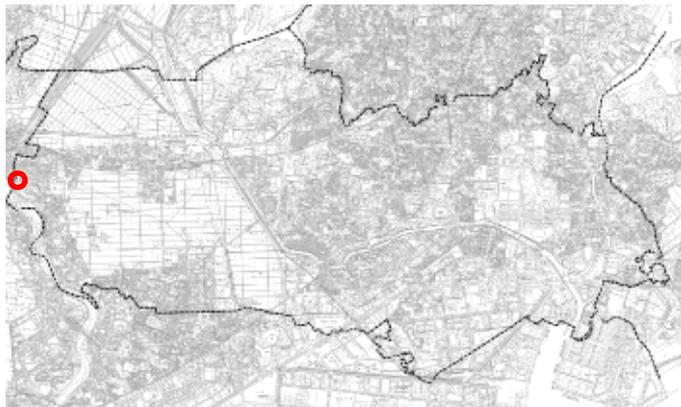


【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 ★D4-2-1 事業名 災害公営住宅整備事業（新田地区）関連小規模施設整備事業
事業費 総額 20,916 千円 (内訳: 本工事費 20,916 千円)
事業期間 平成 27 年度
事業目的・事業地区 災害公営住宅整備事業（新田地区）では、東日本大震災による地震・津波被害を受け、住宅を失い自力再建が困難な被災市民に対して、安心できる居住地の提供を目的としている。 本事業では、基幹事業により整備する災害公営住宅の出入り口周辺の道路舗装について、災害公営住宅（計画戸数：48 戸）の整備により増加する交通量（災害公営住宅計画駐車台数：48 台+2 台(来客用)=50 台）に対応するため、舗装設計便覧（日本道路協会）に基づき、道路舗装の打換え（舗装厚：5~10cm→11cm）等の整備を行ったもの。
位置図 
事業結果 路線名：新田西後一号線  <平成 27 年度> ・本工事費 20,916 千円
事業の実績に関する評価 ①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ・基幹事業（D-4-2 災害公営住宅整備事業(新田地区)）の実施で増加した交通量に対応できる道路整備を行ったことにより、住民の安心安全な道路環境を確保することができたものと判断される。  ②コストに関する調査・分析・評価 ・事業費の設計・積算は、土木工事標準積算基準書等により実施し、多賀城市契約規則等に基づき契約を行い、業者を選定している。 ・また、コストについては比較できる直近の同種他事業が無いため分析は困難であ

るが、工事費については、基準書に基づき、広く採用されている舗装工法を採用したことから、妥当な事業費であると判断できる。

③事業手法に関する調査・分析・評価

・本事業は、以下のとおり、概ね予定どおり事業を進めることができた。

<想定した事業期間>

工事 入札手続き・発注・完了 平成27年4月～平成28年3月

<実際に事業に要した事業期間>

工事 入札手続き・発注・完了 平成27年8月～平成27年12月

・発注準備等に時間を要したものの、その後は工事請負者と密に調整を行うことで、円滑に工事を進捗させ、当初の予定期間より早期に工事を完了することができた。

事業担当部局

建設部道路公園課 電話番号：022-368-1141